

# 感染症情報 5月5日～11日

府下小児科186医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,188例(堺市	64例)
②溶連菌感染症	211例(堺市	20例)
③伝染性紅斑	138例(堺市	13例)
④咽頭結膜熱	104例(堺市	8例)
⑤突発性発疹	60例(堺市	6例)

府下292医療機関(堺市25)から

**インフルエンザ** 161例(堺市 6例)

報告数による順位。前週比15.5%減の1,815件。今回もゴールデンウィークを含んでいることを考慮する必要がある。感染性胃腸炎が府下で前週から21%減、堺市で前週79例→今回64例。溶連菌感染症が府下で1%増、堺市で前週24例→今回20例。伝染性紅斑が府下で14%増、堺市で前週3例→今回13例。咽頭結膜熱が府下で9%増、堺市で前週10例→8例であった。

インフルエンザが府下で前週169例→今回161例は5%減。堺市は前週5例→今回6例。

全数把握疾患の百日咳は大阪府で62例→81例は31%増、堺市は0例→3例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は1,006例と千人を超えた。

府下292医療機関(堺市25)から

**新型コロナウイルス感染症** 218例(堺市 12例)  
大阪府定点 0.75 堺市定点 0.48

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で12%減、定点当たり0.85→0.75。堺市で16例→12例、定点当たり0.64→0.48。

府下292医療機関(堺市25)から

**急性呼吸器(ARI)感染症** 9,556例(堺市 954例)  
大阪府定点 32.73 堺市定点 38.16

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より17%減、定点当たり39.35→32.73、堺市で前回より20%減、定点当たり47.52→38.16であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。